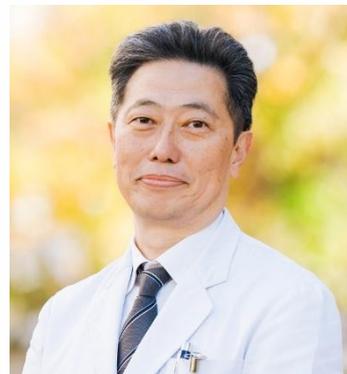




## 文化的交流の「場」としての図書館

医学部 呼吸器・アレルギー内科学講座  
教授 千葉 弘文

総合情報センター広報誌に一文をと依頼を受けた。図書にまつわる話、何かないかと思案したが、最近は図書館に足を運ぶこともめっきり少なくなった。仕事関連の文献や情報をオンラインで容易に入手できることが大きいと思う。図書館という「場」のニーズも大きく様変わりしているのだろう。この便利な世界を創出したエンジニアの方々に感謝しつつ、さて何を書こうか。自分の読書歴を語るほど本も読んでおらず、はたと困ってしまった。本が好きで地域の図書館で司書をしている妻に「どうしよう。」と助けを求めた。妻は「最近、図書館に行ったことある?」「ないんだあ。文化的生活とは縁遠いものね。」と、いつものごとく文化度の低さをなじられたが、お慈悲で「こないだ金沢の図書館が素敵だったって、言ってたわよ。」と書き出しのヒントをくれた。「あなたは大概の大人なら読んでいる本を読んでいない。」それが低い評価に繋がるようである。素直に反省し、医学以外の本も手に取る時間を作りたいと思っている。

そういえば一昨年の金沢出張の折、当地で大学生活を送っている長男に街を案内してもらった。限られた時間で父親をどこに連れていくか、彼なりに考えたようだが、貸自転車に乗って連れられた先は、彼のバイト先である「近江町市場」と、もう一つは「石川県立図書館」だった。一人暮らしを始めた街で、彼が生活の「場」としている所を案内してくれたらいい。図書館とは意外であったが、母親似だなと面白くも思った。「石川県立図書館」の入り口をくぐった時、劇場のような壮大さに圧倒された。目立つところに「おしゃべり OK。迷惑にならない音量で」と掲げてあった。お洒落なカフェがあり、お茶を飲みながら本を読む人の姿があった。司書推薦の本が並ぶコーナーがあり、思わず一冊手に取らさった（北海道弁、まさに取らさったという感じ）。読む時間がないことを口惜しく思い、本のタイトルを記憶した。多様な閲覧スペースでは、子供から老人まで、本を片手に「迷惑にならない音量」で語らう姿があった。本が織りなす文学、科学、芸術の世界に会話を楽しんでいるのだろう。ルールが緩いので迷惑な人がいるのではと長男に聞くと、「金沢の人たちは文化的な街を誇りにしていて、みなさんマナーが良い。」とのことだった。「文化の香りがするサロン」であり、そんな交流の「場」を提供する図書館だった。

医育大学の図書館は、自治体の図書館とは役割が違う。しかし、学問が醸成する上質な雰囲気と人々の交流、そんな「場」を提供することが、これからの本学図書館が果たす大切な役割となるのではないか。医学知識の吸収、臨床情報の共有、研究題材の探索など、極めて狭い領域に大きな時間を割いているのが我々医療人である。一方で、様々な人々に寄り添い続ける職業であるからこそ、生涯に渡って全人的な成長が求められるのも我々医療人である。司書推薦の文学書や芸術書に自然と手が伸び、医学の勉強をよそに思わず読ませる。本学の図書館に全人的な成長を支えるそんな風景があっても良い気がする。まずは、本学の図書館を利用してみることにしよう。

## Topic

令和6年12月

# 「札幌医科大学オープンアクセスポリシー」がスタート！！

### ＜ポリシーによって何が変わるの？＞

令和6年12月1日以降に学術雑誌等へ掲載された本学研究者の研究成果は全て、「学術機関リポジトリikor」などを用いて、原則『オープンアクセス』で社会へ公開します。

研究成果をインターネットで公開することにより、誰もが**無料かつ自由**に研究成果にアクセスできるようにすること

#### オープンアクセスのメリット

- ・インターネットを通じて、世界中の人々に論文を読んでもらうことができます。【視認性向上】
- ・論文が引用される可能性が高まります。【被引用数の増加】
- ・社会に対する研究成果の還元と説明責任を果たします。【科学的知識の公平な普及】

check



#### 各種情報リンク

オープンサイエンスの取組 >

オープンサイエンスの取組ページで、各種ポリシーとポータルサイトを公開中



### 論文を「オープンアクセス（OA）」にする方法

機関リポジトリによる  
オープンアクセス(グリーンOA)

無料

ジャーナルサイトによる  
オープンアクセス（ゴールドOA）

APC負担

大学の  
サポート

札幌医科大学学術機関リポジトリikor(イコル)

学内研究者は、研究成果を学術機関リポジトリikorでオープンアクセスにすることができます。

#### 【メリット】

- ・APCの負担なく、無料でオープンアクセスにすることができます。
  - ・大学の研究成果として残すことができます。
- 「学術機関リポジトリikor申請フォーム」→



大学の  
サポート

Wiley論文掲載料(APC)免除・割引支援

図書館はWiley社と機関契約を結び、論文のオープンアクセス出版の拡大を支援しています。

#### 【支援情報】

- ・Wileyハイブリッド誌へ掲載される論文のAPC免除（先着順）または割引
- 詳細はホームページをご確認ください。  
※学内者専用ページ



## Topic

# 「Cochrane Library(コクランライブラリー)」のサービス提供がスタート

図書館では新たに、「Cochrane Library (コクラン・ライブラリー)」のサービスの提供開始しました。質の高いシステマティック・レビューが検索でき、診療ガイドライン作成やEBMに役立つ医学情報リソースです。ぜひご活用ください。

### アクセス方法



(学内)



(学外)

※要SAINS認証

お困りのとき  
ご参照ください☞



check

【サポート  
ページ】

Cochrane Library Trusted evidence. Informed decisions. Better health. Access provided by: Sapporo Medical University

コクランライブラリー  
トップページ

Open menu

Precision nutrition interventions  
Read the review

Antidepressants versus placebo for GAD  
Read the review

Reducing non-prescription antimicrobial sales  
Read the review



# 図書館利用カード変更手続きのご案内

卒業/修了/  
退職予定の皆さまへ

今春、卒業・修了・退職される皆様につきましては、身分が変わるため、現在お持ちの学生証・IDカードが利用できなくなります。  
引き続き図書館利用をご希望の場合は、以下の手続き方法をご確認のうえ、各電子申請窓口より申請してください。新しいIDカードの発行を行います。

## ステップ1

現在の身分と、新IDカード取得に必要な手続きを確認。[下表参照]

## ステップ2

電子申請窓口から申請。

現在の身分	4月以降の身分	現IDカードの取扱い		新IDカード 変更手続き
		有効期限 (図書館利用)	備考	
卒業生	医学部	学内研修医	4月1日(火) まで延長可 ※1	学内者申請 ※4月以降受付
		学外研修医		-
	保健医療学部	学内勤務 [看護部]	4月1日(火) まで延長可	不要(看護部配布) ※4/1配属の場合に限る
		学内勤務 [看護部以外]		学内者申請 ※4月以降受付
	学外勤務	令和7年 3月21日(金)	-	卒業生・ 元教職員申請
修了生	大学院生・ 専攻科生	研究生	4月1日(火) まで延長可	学内者申請 ※4月以降受付
		大学院生・ 専攻科生		不要(学務課配布)
		学内勤務	-	学内者申請 ※4月以降受付
		学外勤務	-	卒業生・ 元教職員申請
教職員	正規教職員	学内の「所属、 身分」変更	-	再発行申請
		学外勤務		卒業生・ 元教職員申請
	非正規教職員 (学内研修医含む)	本学卒業生		卒業生・ 元教職員申請
		学外勤務 [医療資格あり]		学外者申請

学内者申請

卒業生・  
元教職員申請

再発行申請

学外者申請

※1 利用可能サービスは通常開館入館に限る

卒業生・元教職員申請および学外者申請の際提出する身分証明書は、3月中に限り学生証または教職員証をご使用いただけます。

- 令和7年度以降、学内勤務となる方の新IDカードのお渡しは、4月1日以降です(申請は随時受付)。
- 卒業生および修了生は3月21日以降、新IDカードの引渡し完了するまで図書等の貸出、文献複写申込はできません。
- 受けられる図書館サービスは、学内者、卒業生・本学元教職員、学外者で異なります。詳しくは図書館HPをご確認ください。

### 「年度更新」教職員の更新について

年度更新扱いの研究補助員、非常勤講師等のカードをご利用の方は**自動更新**です。更新されていない(使用できなくなった)場合は、お手数ですが図書館2階カウンター(内線24240)までお問い合わせください。



## 退職、修了される方必見!! SAINS アカウント継続利用申請について

札幌医科大学学術ネットワーク (SAINS) のアカウントについて、退職や修了により学内者の身分を失った後も継続利用を希望する場合は、事前に継続利用申請を行う必要があります。

これは、2019年に発生したメールアカウントの不正使用事案を踏まえ、アカウント管理の適正化に向けた取組み強化によるものです。今後、継続利用が認められたアカウントは1年毎の更新が必要となりますのでご注意ください (本年度の申請では 2026年7月31日まで利用可能)。

詳細は、下記ホームページをご覧ください。おおよそ以下の内容となります。

- 学内者身分を失った後も SAINS アカウントの利用を希望する場合は「継続利用申請」が必要。
- 継続利用申請は、「電子申請」または「継続利用申請書 および 誓約書」の提出が必要。
- 継続利用申請は 1 年毎の更新。  
継続利用期間は、翌年の 7 月 31 日まで。ただし、申請日から翌年の 7 月 31 日までの期間が 1 年未満である場合、翌々年の 7 月 31 日までの継続利用期間となる。
- 2019 年 6 月以降にパスワードを変更していない場合は、パスワードの変更が必要。
- **電子メールサービスのみ利用可能。**  
VPN やリモートアクセス (電子ジャーナル利用) 等は利用不可。

※ 継続利用申請を行わない場合、学内身分を失った日より 2 ヶ月経過でアカウントが抹消されます。詳細については下記ホームページをご覧ください。

ホームページ 退職・修了等の後 (学外者) の SAINS アカウント利用について  
<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/4675/>



総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: [icccj@sapmed.ac.jp](mailto:icccj@sapmed.ac.jp)

### ◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
文献複写依頼に関すること	24250	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
図書・雑誌に関すること	24230	book@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satusi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111 (代表) FAX 011-641-9646

[URL](https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/) <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/> [E-mail](mailto:libserv@sapmed.ac.jp) [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)  
<https://hamanasu.sapmed.ac.jp/library/>